

お知らせ

# 注射剤配合変化表のリニューアル について

アステラスでは2015年5月をもって注射剤配合変化表をリニューアル致しました。

リニューアル版ではデータ配列を五十音順から薬効分類順に変更しております。

これにより薬効分類毎に結果が一覧できます。

五十音順を使い慣れたユーザーのご参考として末尾に五十音順目次を添付致しました。

規制区分  
劇薬、処方箋医薬品  
注意－医師等の処方箋により使用すること

キャンディン系抗真菌剤  
**ファンガード®点滴用25mg／50mg／75mg**  
Funguard® 25mg/50mg/75mg for Infusion  
注射用ミカファンギンナトリウム

本剤の性状、pH<添付文書記載値>  
白色の塊  
pH（生理食塩液に溶解）：4.5～8.0  
pH変動試験（生理食塩液に溶解）：変化なし  
（但し、pH8.5で24時間後に残存率86.4%の報告あり）

ファンガード点滴用 配合変化表 <本剤の性状：白色の塊 pH（生理食塩液に溶解）：4.5～8.0>

注）遮光下に配合変化試験を実施したのものには製品名の後に★を付した（\*：ファンガード点滴用50mgを使用）

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	配合法	保存 方法	外観／pH／残存率					備考
								配合剤	配合後				
									配合直後	3時間	6時間	24時間	
<111 全身麻薬剤>								[9i] その他					
1	1%ディプリバン注	アストラゼネカ	プロポフォール	200mg/20mL	75mg /Sal. 10mL	22	⑥	無色澄明 8.1	白色の乳濁液 7.4	白色の乳濁液 7.4	白色の乳濁液 7.4	白色の乳濁液 7.4	配合溶液が白濁していたため定量（残存率）は実施せず
<112 催眠鎮静剤，抗不安剤>								[4] ベンゾジアゼピン系製剤					
2	ドルミカム注射液10mg	アステラス	ミダゾラム	10mg/2mL	75mg /5%GuI. 10mL	20	⑥	無色澄明の液 3.3	白濁 3.9	白濁 3.8	白濁 3.8	白濁 3.7	
<114 解熱鎮痛消炎剤>								[9i] その他					
3	レベタン注★	大塚製薬	ブプレノルフィン塩酸塩	1mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 4.04	無色澄明の液 4.40			無色澄明の液 4.39	遮光保存
4	ソセゴン注射液30mg★	山之内	ペンタゾシン	30mg/1mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 4.12	沈殿析出				本剤の添付文書に配合禁忌と記載 遮光保存
<211 強心剤>								[5] カフェイン系製剤					
5	ネオフィリン注★	エーザイ	アミノフィリン水和物	250mg/10mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 9.23	無色澄明の液 9.05	無色澄明の液 9.00			遮光保存
5	ネオフィリン注★	エーザイ	アミノフィリン水和物	250mg/10mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 9.23	無色澄明の液 9.02			微黄色澄明の液 8.95	遮光保存
<211 強心剤>								[9i] その他					
6	イノバン注★	協和発酵	ドパミン塩酸塩	200mg/10mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 4.05	無色澄明の液 4.52			無色澄明の液 4.05	遮光保存
7	ブレドパ注200	マイラン = ファイ ザー	ドパミン塩酸塩	200mg/200mL	75mg(1 管)/Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明 3.7	無色澄明 3.8	無色澄明 3.9	無色澄明 3.8	無色澄明 3.8	
8	ドブトレックス注射液 100mg★	塩野義	ドブタミン塩酸塩	100mg/5mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 2.90	沈殿析出				本剤の添付文書に配合禁忌と記載 遮光保存
<213 利尿剤>								[3] 坑アルドステロン製剤					
9	ソルダクトン200mg★	モンサント	カンレノ酸カリウム	200mg	75mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	微帯黄白色の塊	無色澄明の液 8.92			無色澄明の液 9.02	遮光保存
<213 利尿剤>								[4] 炭酸脱水素酵素阻害剤					
10	注射用ダイアモックス★	ワイズレダリー - 武田	アセタゾラミドナトリウ ム	500mg	75mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	白色の塊	無色澄明の液 9.23			無色澄明の液 9.20	本剤の添付文書に配合禁忌と記載 遮光保存 **：イニシャル時点の繰り返し注入において20%程度の ピーク面積の減少が認められた。
<213 利尿剤>								[9i] その他					
11	ラシックス100mg注★	アベンティス	フロセミド	100mg/10mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 9.12	無色澄明の液 8.67	無色澄明の液 8.65	無色澄明の液 8.63		遮光保存
11	ラシックス100mg注★	アベンティス	フロセミド	100mg/10mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 9.12	無色澄明の液 8.68			無色澄明の液 8.73	遮光保存

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載 配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号 : D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, GuI. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ファンガード点滴用 配合変化表 <本剤の性状：白色の塊 pH(生理食塩液に溶解)：4.5~8.0>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した (\*：ファンガード点滴用50mgを使用)

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	配合法	保存 方法	外観／pH／残存率					備考
								配合剤	配合後				
									配合直後	3時間	6時間	24時間	
<214 血圧降下剤>								[9i] その他					
12	ペルジピン注射液10mg	アステラス	ニカルジピン塩酸塩	10mg/10mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明	白濁 4.0	白濁 4.0	白濁 4.0	白濁 4.1	
12	ペルジピン注射液10mg	アステラス	ニカルジピン塩酸塩	10mg/10mL +Sal. 100mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明 4.9	無色澄明 5.1	無色澄明 5.2	無色澄明 5.1	無色澄明 5.2	
12	ペルジピン注射液10mg	アステラス	ニカルジピン塩酸塩	10mg/10mL +5%GuI. 100mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明 4.2	白濁※ 4.4	白濁 4.4	白濁 4.4	白色沈殿物 4.3	※：配合直後はいったん無色澄明の液となるが1分後に白濁
12	ペルジピン注射液10mg	アステラス	ニカルジピン塩酸塩	10mg/10mL +5%GuI. 200mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明 4.3	白濁 4.4	白濁 4.4	白濁 4.4	白色沈殿物 4.4	
<217 血管拡張剤>								[9i] その他					
13	ハンブ注射用1000	第一三共	カルペリチド(遺伝子組換え)	1,000μg /D.W. 5mL	75mg /Sal. 10mL	22	⑥	白色 -	無色澄明 5.5	無色澄明 5.6	無色澄明 5.6	無色澄明 5.4	保冷品から室温保存品に切り替えられたことに伴い、新データを取得
<219 その他の循環器官用薬>								[0J] 配合剤					
14	グリセオール注★	大塚工場 - 中外	濃グリセリン・果糖	200mL	75mg	3	①(遮光)	無色澄明の液 3.71	無色澄明の液 3.68			無色澄明の液 3.68	遮光保存
<221 呼吸促進剤>								[9i] その他					
15	ドプラム注射液★	キッセイ	ドキサプラム塩酸塩水和物	400mg/20mL	75mg /Sal. 10mL	1	①(遮光)	無色澄明の液 3.83	沈殿析出				本剤の添付文書に配合禁忌と記載 遮光保存
<223 去たん剤>								[4] ブロムヘキシン製剤					
16	ピソルボン注射液★	BIS - 日本ベリンガー	ブロムヘキシン塩酸塩	4mg/2mL	75mg /Sal. 10mL	1	①(遮光)	無色澄明の液 2.69	無色澄明の液 3.09			無色澄明の液 3.04	遮光保存
<232 消化性潰瘍剤>								[5] H <sub>2</sub> 遮断剤					
17	タガメット注射液200mg★	藤沢 - SBS	シメチジン	200mg/2mL	75mg /Sal. 10mL	1	①(遮光)	無色澄明の液 5.40	沈殿析出				本剤の添付文書に配合禁忌と記載 遮光保存
18	ガスター注射液20mg	アステラス	ファモチジン	20mg/2mL +5%GuI. 18mL	75mg /5%GuI. 10mL	20	⑥	無色澄明の液 5.9	無色澄明の液 6.0	無色澄明の液 6.1	無色澄明の液 6.1	無色澄明の液 6.1	
19	ザンタック注射液★	グラクソ・ウェルカム = 三共	ラニチジン塩酸塩	100mg*/4mL	75mg /Sal. 10mL	1	①(遮光)	無色澄明の液 6.98	無色澄明の液 6.82			無色澄明の液 6.70	*：ラニチジン塩酸塩として112mg/ラニチジンとして100mg 遮光保存
<232 消化性潰瘍剤>								[9i] その他					
20	オメプラール注用20	アストラゼネカ	オメプラゾールナトリウム	20mg /Sal. 20mL	75mg /Sal. 10mL	22	⑥	白色 -	無色澄明 9.2	無色澄明 9.2	無色澄明 9.2	微黄色澄明 9.3	
<239 その他の消化器官用薬>								[1] 鎮吐剤					
21	ゾフラン注4★	グラクソ・ウェルカム = 三共	オンダンセトロン塩酸塩水和物	4mg/2mL	75mg /Sal. 10mL	1	①(遮光)	無色澄明の液 3.42	無色澄明の液 3.90			無色澄明の液 3.90	遮光保存
22	カイトリル注射液★	SBS	グラニセトロン塩酸塩	3mg*/3mL	75mg /Sal. 10mL	1	①(遮光)	無色澄明の液 6.49	無色澄明の液 5.56			無色澄明の液 5.57	*：グラニセトロン塩酸塩として3.35mg/グラニセトロンとして3mg 遮光保存
23	ナゼア注射液0.3mg★	山之内	ラモセトロン塩酸塩	0.3mg/2mL	75mg /Sal. 10mL	1	①(遮光)	無色澄明の液 4.43	無色澄明の液 4.56			無色澄明の液 4.50	遮光保存
<239 その他の消化器官用薬>								[9i] その他					
24	プリンペラン注射液★	藤沢	塩酸メトクロプラミド	10mg/2mL	75mg /Sal. 10mL	1	①(遮光)	無色澄明の液 3.18	無色澄明の液 4.11			無色澄明の液 4.03	遮光保存

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載 配合量の/(溶解), +(希釈)の右側に記載の略号：D.W.は注射用水, Sal.は生理食塩液, GuI.はブドウ糖注射液, Sol.は添付溶解液を示す。



ファンガード点滴用 配合変化表 <本剤の性状：白色の塊 pH(生理食塩液に溶解)：4.5~8.0>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した (\*：ファンガード点滴用50mgを使用)

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	配合法	保存 方法	外観／pH／残存率					備考
								配合剤	配合後				
									配合直後	3時間	6時間	24時間	
<245 副腎ホルモン剤>								[1] エピネフリン製剤					
25	ノルアドレナリン注1mg	第一三共	ノルアドレナリン注射液	1mg/1mL +Sal. 250mL	75mg /Sal. 10mL	21	⑥	無色澄明 2.4	無色澄明 5.5 100.0	無色澄明 5.5 99.6	無色澄明 5.6 100.6	無色澄明 5.5 100.6	
<245 副腎ホルモン剤>								[2] コルチゾン系製剤					
26	ソル・コーテフ★	住友製薬 - P&U	ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム	100mg*	75mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	白色の塊	無色澄明の液 7.39 100.0			無色澄明の液 7.13 99.5	*：ヒドロコルチゾンとして100mg／ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウムとして133.7mg 遮光保存
<245 副腎ホルモン剤>								[4] フッ素付加副腎皮質ホルモン製剤					
27	デカドロン注射液★	万有	デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム	6.6mg*/2mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 7.84	無色澄明の液 7.59 100.0			無色澄明の液 7.49 98.6	*：デキサメタゾンリン酸エステルとして8mg／デキサメタゾンとして6.6mg 遮光保存
28	リンデロン注★	塩野義	ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム	2mg*/0.5mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 7.56	無色澄明の液 7.23 100.0			無色澄明の液 7.17 99.8	*：ベタメタゾンリン酸エステルナトリウムとして2.65mg／ベタメタゾンとして2mg 遮光保存
<245 副腎ホルモン剤>								[6] プレドニゾン系製剤					
29	水溶性プレドニン50mg★	塩野義	プレドニゾンコハク酸エステルナトリウム	50mg*	75mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	白色の塊	無色澄明の液 6.63 100.0			無色澄明の液 6.59 98.7	*：プレドニゾンコハク酸エステルとして63.9mg／プレドニゾンとして50mg 遮光保存
30	ソル・メドロール1000★	P&U	メチルプレドニゾンコハク酸エステルナトリウム	1g*	75mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	白色の塊	無色澄明の液 7.71 100.0			無色澄明の液 7.52 93.7	*：メチルプレドニゾンコハク酸エステルナトリウムとして1326mg／メチルプレドニゾンとして1000mg 遮光保存
<249 その他のホルモン剤（抗ホルモン剤を含む。）>								[2] すい臓ホルモン剤					
31	ノボリンR注100単位/mL	ノボ	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	1000単位/10mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明 7.4	無色澄明 7.0 100.0	無色澄明 7.0 100.1	無色澄明 7.0 99.2	無色澄明 7.0 99.3	
32	ヒューマリンR注100単位/mL	リリー	ヒトインスリン（遺伝子組換え）	1000単位/10mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明 7.4	無色澄明 6.9 100.0	無色澄明 6.9 99.5	無色澄明 6.9 99.8	無色澄明 6.9 99.5	
<312 ビタミンB <sub>1</sub> 剤>								[2] ビタミンB <sub>1</sub> 誘導体制剤					
33	アリナミンF100注★	武田	フルスルチアミン塩酸塩	100mg*/20mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 2.93	無色澄明の液 3.31 100.0			無色澄明の液 3.27 99.7	*：フルスルチアミンとして100mg／フルスルチアミン塩酸塩として109.16mg 遮光保存
<313 ビタミンB剤（ビタミンB <sub>1</sub> 剤を除く。）>								[1] ビタミンB <sub>2</sub> 剤					
34	フラビタン注射液20mg★	トーアエイヨー - 山之内	フラビンアデニンジヌクレオチド	20mg/2mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	橙色澄明の液 5.61	淡黄色澄明の液 5.50 100.0			帯褐色澄明の液 5.49 99.6	遮光保存
<313 ビタミンB剤（ビタミンB <sub>1</sub> 剤を除く。）>								[3] パントテン酸系製剤					
35	パントシン注10%★	第一製薬	パンテチン	200mg/2mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 4.76	無色澄明の液 4.61 100.0			無色澄明の液 4.63 102.0	遮光保存
<316 ビタミンK剤>								[0] ビタミンK製剤					
36	ケイツーN注★	エーザイ	メナテトレノン(2)	10mg/2mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	微黄色の乳濁した液 7.43	沈殿析出				本剤の添付文書に配合禁忌と記載 遮光保存
<317 混合ビタミン剤（ビタミンA・D混合製剤を除く。）>								[9K] VB <sub>1</sub> ・VB <sub>6</sub> ・VB <sub>12</sub> 複合剤（VB <sub>2</sub> 配合を含む）					
37	ネオラミン・スリービー液（静注用）★	日本化薬	チアミンジスルフィド・B <sub>6</sub> ・B <sub>12</sub> 配合剤	10mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	淡赤色澄明の液 3.43	沈殿析出				本剤の添付文書に配合禁忌と記載 遮光保存
38	ピタメジン静注用★	三共	リン酸チアミンジスルフィド・B <sub>6</sub> ・B <sub>12</sub> 配合剤	1mL 17μL	75mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	帯赤白色の塊	淡赤色澄明の液 4.49 100.0			淡赤色澄明の液 4.53 100.4	遮光保存

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載 配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号 : D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ファンガード点滴用 配合変化表 <本剤の性状：白色の塊 pH(生理食塩液に溶解)：4.5~8.0>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものは製品名の後に★を付した (\*：ファンガード点滴用50mgを使用)

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	配合法	保存 方法	外観／pH／残存率					備考
								配合剤	配合後				
									配合直後	3時間	6時間	24時間	
<317 混合ビタミン剤（ビタミンA・D混合製剤を除く。）>								[9N] 総合ビタミン剤					
39	オーツカMV注★	大塚製薬	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(2)	1号(凍乾品)・ 2号(液剤) 4mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	帯褐色澄明の液 5.96	黄色澄明の液 5.89			黄色澄明の液 5.84	遮光保存
40	ネオラミン・マルチV★	日本化薬 = 科研	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(4)	1ﾊﾞｲﾌﾙ	75mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	黄色の塊	黄色澄明の液 4.89			帯褐色澄明の液 4.97	遮光保存
41	マルタミン注射用★	味の素製薬	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(6)	1ﾊﾞｲﾌﾙ /Sal. 5mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑤ (遮光)	黄褐色澄明 4.8	黄色澄明 4.7	黄色澄明 4.8	黄色澄明 4.8	黄色澄明 4.8	遮光保存
42	ビタジェクト	テルモ = 日本化薬	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(7)	A液(5mL)・ B液(5mL)	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	黄色澄明 4.9	黄色澄明 4.8	黄色澄明 4.9	黄色澄明 4.9	黄色澄明 5.0	
<317 混合ビタミン剤（ビタミンA・D混合製剤を除く。）>								[9T] その他の配合剤					
43	シーパラ注	高田	チアミン・ニコチン酸アミド配合剤	2mL	75mg /Sal. 10mL	22	⑥	橙黄色澄明 4.9	黄色澄明 4.9	黄色澄明 4.9	黄色澄明 5.0	黄色澄明 5.0	
<321 カルシウム剤>								[3] グルコン酸カルシウム製剤					
44	カルチコール注射液 8.5%10mL	日医工	グルコン酸カルシウム水和物	850mg/10mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明 7.2	無色澄明 6.7	無色澄明 6.8	無色澄明 6.8	無色澄明 6.8	
<322 無機質製剤>								[2] 鉄化合物製剤（有機酸鉄を含む。）					
45	フェジン静注40mg	日医工	含糖酸化鉄	40mg/2mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	暗褐色 10.0	黒褐色 8.9	黒褐色 8.9	黒褐色 8.8	黒褐色 8.7	
<322 無機質製剤>								[9i] その他					
46	アスパラカリウム注10mEq	田辺三菱	L-アスパラギン酸カリウム	1.712g/10mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明 7.2	無色澄明 7.0	無色澄明 7.0	無色澄明 7.1	無色澄明 7.0	
46	アスパラカリウム注10mEq	田辺三菱	L-アスパラギン酸カリウム	1.712g/10mL +Sal. 30mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明 7.0	無色澄明 7.0	無色澄明 7.0	無色澄明 7.0	無色澄明 7.0	
47	K. C. L. 点滴液15%	丸石	塩化カリウム（リン酸リポフラビン添加）	3g/20mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	黄色澄明 5.6	黄色澄明 5.6	黄色澄明 5.6	黄色澄明 5.6	黄色澄明 5.4	
47	K. C. L. 点滴液15%	丸石	塩化カリウム（リン酸リポフラビン添加）	3g/20mL +Sal. 1000mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	淡黄色澄明 6.2	淡黄色澄明 6.3	淡黄色澄明 6.3	淡黄色澄明 6.3	微黄色澄明 6.2	
<322 無機質製剤>								[9K] 微量元素配合剤					
48	エレメンミック注	味の素 = 味の素 ファルマ	塩化マンガン・硫酸亜鉛 水和物配合剤(1)	8mL(4管)	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	暗赤褐色澄明の液 5.4	暗赤褐色澄明の液 5.4	暗赤褐色澄明の液 5.5	暗赤褐色澄明の液 5.5	暗赤褐色澄明の液 5.6	
49	ミネラリン注	日本製薬 = 武田	塩化マンガン・硫酸亜鉛 水和物配合剤(1)	2mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	暗赤褐色澄明 5.3	暗赤褐色澄明 5.3	暗赤褐色澄明 5.4	暗赤褐色澄明 5.4	暗赤褐色澄明 5.5	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載 配合量の/(溶解), +(希釈)の右側に記載の略号: D.W.は注射用水, Sal.は生理食塩液, Gul.はブドウ糖注射液, Sol.は添付溶解液を示す。

ファンガード点滴用 配合変化表 <本剤の性状：白色の塊 pH(生理食塩液に溶解)：4.5~8.0>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した (\*：ファンガード点滴用50mgを使用)

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	配合法	保存 方法	外観／pH／残存率					備考
								配合剤	配合後				
									配合直後	3時間	6時間	24時間	
<323 糖類>								[1] ブドウ糖製剤					
50	大塚糖液5%	大塚工場 = 大塚製薬	ブドウ糖	5% 250mL	100mg (2管)	3	⑥	無色澄明 4.6	無色澄明 4.8	無色澄明 4.8	無色澄明 4.8	無色澄明 4.8	ミカファンギンナトリウム濃度：0.4mg/mL
51	大塚糖液5%★	大塚工場	ブドウ糖	5% 100mL	75mg	3	① (遮光)	無色澄明 5.11	無色澄明 5.33		無色澄明 5.25	無色澄明 102.3	ミカファンギンナトリウム濃度：0.75mg/mL 遮光保存
50	大塚糖液5%	大塚工場 = 大塚製薬	ブドウ糖	5% 10mL	75mg	3	⑥	無色澄明 4.6	無色澄明 5.5	無色澄明 5.5	無色澄明 5.5	無色澄明 5.4	ミカファンギンナトリウム濃度：7.5mg/mL
52	テルモ糖注5%	テルモ	ブドウ糖	5% 250mL	100mg (2管)	3	⑥	無色澄明 5.4	無色澄明 5.4		無色澄明 5.6	無色澄明 5.6	ミカファンギンナトリウム濃度：0.4mg/mL
52	テルモ糖注5%	テルモ	ブドウ糖	5% 10mL	75mg	3	⑥	無色澄明 5.4	無色澄明 5.6	無色澄明 5.8	無色澄明 5.4	無色澄明 5.7	ミカファンギンナトリウム濃度：7.5mg/mL
53	大塚糖液50%	大塚工場 = 大塚製薬	ブドウ糖	50% 20mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明 3.7	無色澄明 3.8	無色澄明 3.9	無色澄明 3.9	無色澄明 3.8	
<323 糖類>								[4] キシリトール製剤					
54	キシリトール注20%	大塚工場 = 大塚製薬	キシリトール	4g/20mL	75mg /Sal. 10mL	22	⑥	無色澄明 5.9	無色澄明 5.7	無色澄明 5.7	無色澄明 5.7	無色澄明 5.7	
<323 糖類>								[9 T] その他の配合剤					
55	ハイカリックRF輸液	テルモ	高カロリー輸液用基本液 (5-7)	250mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明 4.5	無色澄明 4.5	無色澄明 4.5	無色澄明 4.5	無色澄明 4.5	
<325 たん白アミノ酸製剤>								[3] 混合アミノ酸製剤					
56	アミノレバン点滴静注	大塚工場 = 大塚製薬	肝不全用アミノ酸製剤(1)	200mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明 5.9	無色澄明 5.9	無色澄明 5.9	無色澄明 5.9	無色澄明 5.9	
57	アミパレン輸液	大塚工場 = 大塚製薬	高カロリー輸液用総合アミノ酸製剤(4)	200mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明 6.9	無色澄明 6.9	無色澄明 6.9	無色澄明 6.9	無色澄明 6.9	
58	ネオアミュー輸液	味の素製薬	腎不全用アミノ酸製剤(1-2)	200mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明 7.1	無色澄明 7.2	無色澄明 7.2	無色澄明 7.2	無色澄明 7.2	
59	キドミン輸液	大塚工場 = 大塚製薬	腎不全用アミノ酸製剤(2-1)	200mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明 6.9	無色澄明 6.9	無色澄明 6.9	無色澄明 6.9	無色澄明 6.9	
<325 たん白アミノ酸製剤>								[9 N] 混合アミノ酸・ブドウ糖・無機塩類製剤					
60	アミノトリパ1号輸液	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質(2-1)	上室(250mL)・ 下室(600mL)	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明 5.6	無色澄明 5.6	無色澄明 5.6	無色澄明 5.6	無色澄明 5.5	
61	アミノトリパ2号	大塚工場	アミノ酸・糖・電解質(2-2)	上室(300mL)・ 下室(600mL)	50mg	3	②		無色澄明の液 5.54			無色澄明の液 5.47	
62	アミノフリード★	大塚工場	アミノ酸・糖・電解質(2-3)	上室(150mL)・ 下室(350mL)	75mg	3	① (遮光)	無色澄明の液 6.68	無色澄明の液 6.71			無色澄明の液 6.49	遮光保存
63	ツインパル	味の素 = 味の素ファルマ	アミノ酸・糖・電解質(2-3)	I層(350mL)・ II層(150mL)	75mg	3	⑥	無色澄明の液 6.7	無色澄明の液 6.7	無色澄明の液 6.7	無色澄明の液 6.7	無色澄明の液 6.6	
63	ツインパル	味の素 = 味の素ファルマ	アミノ酸・糖・電解質(2-3)	50mL※	150mg /Sal. 50mL	20	⑥	無色澄明の液 6.7	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.7	無色澄明の液 6.7	※：I層(350mL)・II層(150mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
63	ツインパル	味の素 = 味の素ファルマ	アミノ酸・糖・電解質(2-3)	50mL※	150mg /5%GuI. 50mL	20	⑥	無色澄明の液 6.7	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.7	無色澄明の液 6.7	※：I層(350mL)・II層(150mL)を混合した後、必要量を本剤と配合

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号：D.W.は注射用水, Sal.は生理食塩液, GuI.はブドウ糖注射液, Sol.は添付溶解液を示す。



ファンガード点滴用 配合変化表 <本剤の性状：白色の塊 pH(生理食塩液に溶解)：4.5~8.0>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した (\*：ファンガード点滴用50mgを使用)

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	配合法	保存 方法	外観／pH／残存率					備考
								配合剤	配合後				
									配合直後	3時間	6時間	24時間	
＜325 たん白アミノ酸製剤＞								[9N] 混合アミノ酸・ブドウ糖・無機塩類製剤					
64	ピーエヌツイン-1号輸液	味の素製薬	アミノ酸・糖・電解質(3-1)	I層(800mL)・II層(200mL)	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明 5.0	無色澄明 5.0	無色澄明 5.0	無色澄明 5.0	無色澄明 5.0	
65	ピーエヌツイン-2号輸液	味の素製薬	アミノ酸・糖・電解質(3-2)	I層(800mL)・II層(300mL)	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明 5.1	無色澄明 5.1	無色澄明 5.1	無色澄明 5.1	無色澄明 5.1	
66	ピーエヌツイン-3号*	味の素ファルマ	アミノ酸・糖・電解質(3-3)	I層(800mL)・II層(400mL)	50mg	3	②		無色澄明の液 5.13			無色澄明の液 5.11	
66	ピーエヌツイン-3号*	味の素ファルマ	アミノ酸・糖・電解質(3-3)	I層(800mL)・II層(400mL)	50mg	3	②		無色澄明の液 5.15		無色澄明の液 5.15		

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載 配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号 : D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

＜325 たん白アミノ酸製剤＞

[9T] その他の配合剤

67	フルカリック1号	テルモ = 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(1-1)	大室(700mL)・中室(200mL)・小室(3mL)	75mg	3	⑥	淡黄色澄明の液 5.1	淡黄色澄明の液 5.1	微黄色澄明の液 5.1	微黄色澄明の液 5.1	微黄色澄明の液 5.1	
67	フルカリック1号	テルモ = 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(1-1)	50mL※	150mg /5%Gul. 50mL	20	⑥	淡黄色澄明の液 5.1	微黄色澄明の液 5.1	微黄色澄明の液 5.2	微黄色澄明の液 5.1	微黄色澄明の液 5.1	※：大室(700mL)・中室(200mL)・小室(3mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
67	フルカリック1号	テルモ = 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(1-1)	50mL※	150mg /Sal. 50mL	20	⑥	淡黄色澄明の液 5.1	微黄色澄明の液 5.1	微黄色澄明の液 5.1	微黄色澄明の液 5.1	微黄色澄明の液 5.1	※：大室(700mL)・中室(200mL)・小室(3mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
68	フルカリック2号	テルモ = 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(1-2)	大室(700mL)・中室(300mL)・小室(3mL)	75mg	3	⑥	淡黄色澄明の液 5.3	淡黄色澄明の液 5.3	微黄色澄明の液 5.3	微黄色澄明の液 5.3	微黄色澄明の液 5.4	
68	フルカリック2号	テルモ = 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(1-2)	50mL※	150mg /5%Gul. 50mL	20	⑥	淡黄色澄明の液 5.3	微黄色澄明の液 5.4	微黄色澄明の液 5.4	微黄色澄明の液 5.4	微黄色澄明の液 5.4	※：大室(700mL)・中室(300mL)・小室(3mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
68	フルカリック2号	テルモ = 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(1-2)	50mL※	150mg /Sal. 50mL	20	⑥	淡黄色澄明の液 5.3	微黄色澄明の液 5.3	微黄色澄明の液 5.3	微黄色澄明の液 5.3	微黄色澄明の液 5.3	※：大室(700mL)・中室(300mL)・小室(3mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
69	フルカリック3号	テルモ = 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(1-3)	大室(700mL)・中室(400mL)・小室(3mL)	75mg	3	⑥	淡黄色澄明の液 5.5	淡黄色澄明の液 5.5	微黄色澄明の液 5.5	微黄色澄明の液 5.5	微黄色澄明の液 5.5	
69	フルカリック3号	テルモ = 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(1-3)	50mL※	150mg /5%Gul. 50mL	20	⑥	淡黄色澄明の液 5.5	微黄色澄明の液 5.7	微黄色澄明の液 5.6	微黄色澄明の液 5.6	微黄色澄明の液 5.5	※：大室(700mL)・中室(400mL)・小室(3mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
69	フルカリック3号	テルモ = 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(1-3)	50mL※	150mg /Sal. 50mL	20	⑥	淡黄色澄明の液 5.5	微黄色澄明の液 5.6	微黄色澄明の液 5.6	微黄色澄明の液 5.6	微黄色澄明の液 5.5	※：大室(700mL)・中室(400mL)・小室(3mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
70	ネオパレン1号	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-1)	上室(300mL)・小室(4mL)・下室(696mL)	75mg	3	⑥	淡黄色澄明の液 5.6	淡黄色澄明の液 5.6	微黄色澄明の液 5.6	微黄色澄明の液 5.6	微黄色澄明の液 5.7	
70	ネオパレン1号	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-1)	50mL※	150mg /Sal. 50mL	20	⑥	淡黄色澄明の液 5.6	微黄色澄明の液 5.7	微黄色澄明の液 5.7	微黄色澄明の液 5.7	微黄色澄明の液 5.6	※：上室(300mL)・小室(4mL)・下室(696mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
70	ネオパレン1号	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-1)	50mL※	150mg /5%Gul. 50mL	20	⑥	淡黄色澄明の液 5.6	微黄色澄明の液 5.7	微黄色澄明の液 5.7	微黄色澄明の液 5.7	微黄色澄明の液 5.7	※：上室(300mL)・小室(4mL)・下室(696mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
71	ネオパレン2号	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-2)	上室(300mL)・小室(4mL)・下室(696mL)	75mg	3	⑥	淡黄色澄明の液 5.4	淡黄色澄明の液 5.4	微黄色澄明の液 5.4	微黄色澄明の液 5.4	微黄色澄明の液 5.4	
71	ネオパレン2号	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-2)	50mL※	150mg /Sal. 50mL	20	⑥	淡黄色澄明の液 5.4	微黄色澄明の液 5.4	微黄色澄明の液 5.4	微黄色澄明の液 5.4	微黄色澄明の液 5.4	※：上室(300mL)・小室(4mL)・下室(696mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
71	ネオパレン2号	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-2)	50mL※	150mg /5%Gul. 50mL	20	⑥	淡黄色澄明の液 5.4	微黄色澄明の液 5.5	微黄色澄明の液 5.5	微黄色澄明の液 5.5	微黄色澄明の液 5.4	※：上室(300mL)・小室(4mL)・下室(696mL)を混合した後、必要量を本剤と配合
72	エルネオパ1号輸液	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-3)	上室(692mL)・小室V(4mL)・小室T(4mL)・下室(392mL)	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	黄色澄明 5.1	微黄色澄明 5.1	微黄色澄明 5.1	微黄色澄明 5.2	微黄色澄明 5.1	
73	エルネオパ2号輸液	大塚工場 = 大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン(2-4)	小室V(4mL)・小室T(4mL)・下室(300mL)	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	黄色澄明 5.3	微黄色澄明 5.3	微黄色澄明 5.3	微黄色澄明 5.3	微黄色澄明 5.3	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載 配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号 : D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, Gul. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ファンガード点滴用 配合変化表 <本剤の性状：白色の塊 pH(生理食塩液に溶解)：4.5~8.0>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した (\*：ファンガード点滴用50mgを使用)

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	配合法	保存 方法	外観／pH／残存率					備考
								配合剤	配合後				
									配合直後	3時間	6時間	24時間	
74	アミグランド輸液	テルモ = 田辺三菱	アミノ酸・糖・電解質・ ビタミン(3)	大室(350mL)・ 小室(150mL)	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明 6.8	無色澄明 6.8	無色澄明 6.7	無色澄明 6.7	無色澄明 6.7	
75	ビーフリード点滴静注用	大塚工場 = 大塚製 薬	アミノ酸・糖・電解質・ ビタミン(4)	50mL※	75mg /Sal. 50mL	20	⑥	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.8	※：上室液(150mL)・下室液(350mL)を混合した後、必要量 を本剤と配合
75	ビーフリード点滴静注用	大塚工場 = 大塚製 薬	アミノ酸・糖・電解質・ ビタミン(4)	500mL※	75mg /Sal. 50mL	20	⑥	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.8	※：上室液(150mL)・下室液(350mL)を混合した後、必要量 を本剤と配合
75	ビーフリード点滴静注用	大塚工場 = 大塚製 薬	アミノ酸・糖・電解質・ ビタミン(4)	50mL※	75mg /5%GuI. 50mL	20	⑥	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.8	※：上室液(150mL)・下室液(350mL)を混合した後、必要量 を本剤と配合
75	ビーフリード点滴静注用	大塚工場 = 大塚製 薬	アミノ酸・糖・電解質・ ビタミン(4)	500mL※	75mg /5%GuI. 50mL	20	⑥	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.8	無色澄明の液 6.8	※：上室液(150mL)・下室液(350mL)を混合した後、必要量 を本剤と配合
76	パレプラス輸液	エイワイファーマ = 陽進堂	アミノ酸・糖・電解質・ ビタミン(3-2)	500mL※	75mg /Sal. 10mL	24	⑥	微黄色澄明 6.9	淡黄色澄明 7.0	淡黄色澄明 6.9	淡黄色澄明 6.9	淡黄色澄明 6.9	※：大室液+小室液混合後、500mL

< 3 3 1 血液代用剤 >

[ 1 ] 生理食塩類

77	大塚食塩注10%	大塚工場 = 大塚製 薬	塩化ナトリウム	10% 20mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明 6.1	無色澄明 5.5	無色澄明 5.6	無色澄明 5.6	無色澄明 5.6	
									100.0	99.6	98.8	99.2	

< 3 3 1 血液代用剤 >

[ 9 J ] 塩化ナトリウム・ブドウ糖剤

78	ソルデム1輸液	テルモ	開始液(1)／塩化ナトリウ ム・ブドウ糖剤	200mL	75mg /Sal. 10mL	23	⑥	無色澄明 6.1	無色澄明 6.1	無色澄明 6.2	無色澄明 6.2	無色澄明 6.2	
									100.0	100.2	101.2	103.0	
79	ソリターT1号★	清水 - 武田	開始液(1)／塩化ナトリウ ム・ブドウ糖剤	200mL	75mg	3	① (遮光)	無色澄明の液 5.08	無色澄明の液 5.08			無色澄明の液 5.07	遮光保存
									100.0			101.0	

< 3 3 1 血液代用剤 >

[ 9 L ] 乳酸ナトリウム・無機塩類・糖類剤

80	ソリターT3号★	清水 - 武田	維持液(3)／乳酸ナトリウ ム・無機塩類・糖類剤	200mL	75mg	3	① (遮光)	無色澄明の液 5.09	無色澄明の液 5.11			無色澄明の液 5.08	遮光保存
									100.0			101.6	
81	ソルデム3A輸液	テルモ	維持液(3)／乳酸ナトリウ ム・無機塩類・糖類剤	200mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明 5.8	無色澄明 5.8	無色澄明 5.8	無色澄明 5.8	無色澄明 5.8	
									100.0	100.5	100.5	100.1	
82	KN補液3B★	大塚工場	維持液(6)／乳酸ナトリウ ム・無機塩類・糖類剤	200mL	75mg	3	① (遮光)	無色澄明の液 5.35	無色澄明の液 5.34			無色澄明の液 5.33	遮光保存
									100.0			101.4	
83	フィジオゾール・3号★	小林薬工 - ウェ ルファイド	維持液(9)／乳酸ナトリウ ム・無機塩類・糖類剤	500mL	75mg	3	① (遮光)	無色澄明の液 4.70	無色澄明の液 4.71			無色澄明の液 4.71	遮光保存
									100.0			102.0	
84	EL-3号★	味の素ファルマ	維持液(12)／乳酸ナトリ ウム・無機塩類・糖類剤	500mL	75mg	3	① (遮光)	無色澄明の液 5.46	無色澄明の液 5.43			無色澄明の液 5.45	遮光保存
									100.0			105.2	
85	ソリターT4号★	清水 - 武田	術後回復液(2)／乳酸ナト リウム・無機塩類・糖類 剤	200mL	75mg	3	① (遮光)	無色澄明の液 5.07	無色澄明の液 5.04			無色澄明の液 5.02	遮光保存
									100.0			99.5	
86	ソリターT2号★	清水 - 武田	脱水補給液(4)／乳酸ナト リウム・無機塩類・糖類 剤	200mL	75mg	3	① (遮光)	無色澄明の液 4.87	無色澄明の液 4.85			無色澄明の液 4.85	遮光保存
									100.0			99.1	

< 3 3 1 血液代用剤 >

[ 9 M ] リンゲル製剤

87	ヴィーンF注★	日研	酢酸リンゲル液	500mL	75mg	3	① (遮光)	無色澄明の液 6.93	無色澄明の液 6.89			無色澄明の液 6.90	遮光保存
									100.0			101.9	
88	ヴィーンD注★	日研	酢酸リンゲル液(ブドウ 糖加)	500mL	75mg	3	① (遮光)	無色澄明の液 5.31	無色澄明の液 5.30			無色澄明の液 5.26	遮光保存
									100.0			100.2	
89	ソルラクト★	テルモ	乳酸リンゲル液	250mL	75mg	3	① (遮光)	無色澄明の液 6.30	無色澄明の液 6.30			無色澄明の液 6.30	遮光保存
									100.0			100.5	
90	ラクテック注★	大塚工場	乳酸リンゲル液	250mL	75mg	3	① (遮光)	無色澄明の液 6.57	無色澄明の液 6.55			無色澄明の液 6.55	遮光保存
									100.0			102.8	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号 : D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, GuI. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。



ファンガード点滴用 配合変化表 <本剤の性状：白色の塊 pH(生理食塩液に溶解)：4.5~8.0>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した (\*：ファンガード点滴用50mgを使用)

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	配合法	保存 方法	外観／pH／残存率					備考
								配合剤	配合後				
									配合直後	3時間	6時間	24時間	
91	ハルトマン液-ヨシトミ★	菱山 - ウエルファ イド	乳酸リンゲル液	500mL	75mg	3	① (遮光)	無色澄明の液	無色澄明の液			無色澄明の液	遮光保存
								6.73	6.65			6.61	
								100.0				96.8	
92	ソルラクトS★	テルモ	乳酸リンゲル液(ソルビ トール加)	250mL	75mg	3	① (遮光)	無色澄明の液	無色澄明の液			無色澄明の液	遮光保存
								6.27	6.29			6.29	
								100.0				99.3	
93	ラクテックG注★	大塚工場	乳酸リンゲル液(ソルビ トール加)	250mL	75mg	3	① (遮光)	無色澄明の液	無色澄明の液			無色澄明の液	遮光保存
								6.46	6.38			6.40	
								100.0				103.4	
94	低分子デキストランL注 ★	大塚工場	乳酸リンゲル液(デキス トラン40加)(1)	250mL	75mg	3	① (遮光)	無色澄明の液	無色澄明の液			無色澄明の液	遮光保存
								5.35	5.34			5.34	
								100.0				99.8	
95	ポタコールR★	大塚工場	乳酸リンゲル液(マル トース加)	250mL	75mg	3	① (遮光)	無色澄明の液	無色澄明の液			無色澄明の液	遮光保存
								4.83	4.86			4.85	
								100.0				99.2	

<331 血液代用剤>

[9T] その他の配合剤

96	フィジオ35輸液	大塚工場 = 大塚製 薬	維持液(ブドウ糖加)(2) ／血液代用剤	250mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
								5.0	5.0	5.0	5.0	5.1	
								100.0	99.8	100.1	99.3		
97	ヴィーン3G注*★	日研	酢酸維持液(ブドウ糖 加)／血液代用剤	500mL	50mg	3※	① (遮光)	無色澄明の液	無色澄明の液		無色澄明の液	無色澄明の液	※：配合剤5mLにて本剤を溶解 遮光保存
								5.34	5.35		5.34	5.34	
								100.0			99.8	98.4	
98	アクテット注	興和 = 興和創薬	酢酸維持液(1)／血液代用 剤	200mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
								5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	
								100.0	100.3	99.7	99.6		

<332 止血剤>

[1] カルバゾクロム系製剤

99	アドナ(AC-17)注射液(静 脈用)★	田辺	カルバゾクロムスルホン 酸ナトリウム水和物	100mg/20mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	橙色澄明の液	帯褐色澄明の液			帯褐色澄明の液	遮光保存
								5.86	5.61			5.64	
								100.0				100.5	

<332 止血剤>

[7] 抗プラスミン剤

100	トランサミン注★	第一製薬	トラネキサム酸	250mg/5mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液	無色澄明の液			無色澄明の液	遮光保存
								7.46	7.14			7.11	
								100.0				99.0	

<333 血液凝固阻止剤>

[4] ヘパリン製剤

101	フラグミン静注5000単位 /5mL	ファイザー = キッ セイ	ダルテパリンナトリウム	5千低分子ヘパリン 国際単位/5mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
								6.6	6.0	6.0	6.0	6.0	
								100.0	98.7	100.1	99.2		
102	ヘパリンカルシウム注射 液	味の素 = 味の素 ファルマ	ヘパリンカルシウム	1万単位/10mL +5%GuI. 1000mL	150mg /5%GuI. 100mL	20	⑥	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液	
								7.3	5.1	5.0	5.0	5.1	
								100.0	99.8	98.9	98.7		
102	ヘパリンカルシウム注射 液	味の素 = 味の素 ファルマ	ヘパリンカルシウム	1万単位/10mL +Sal. 1000mL	150mg /Sal. 100mL	20	⑥	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液	
								7.3	6.4	6.3	6.3	6.3	
								100.0	99.1	99.3	97.3		
102	ヘパリンカルシウム注射 液	味の素 = 味の素 ファルマ	ヘパリンカルシウム	1万単位/10mL	300mg /5%GuI. 40mL	20	⑥	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液	
								7.1	5.8	5.8	5.9	5.9	
								100.0	99.7	99.4	99.7		
#N/A	現行	味の素 = 味の素 ファルマ	ヘパリンカルシウム	1万単位/10mL	300mg /Sal. 40mL	20	⑥	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液	
								7.1	5.9	6.0	6.0	6.0	
								100.0	99.9	100.3	101.2		
104	ノボ・ヘパリン注1万単位	持田	ヘパリンナトリウム	1万単位/10mL +Sal. 1000mL	150mg /Sal. 100mL	20	⑥	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液	
								6.5	6.4	6.3	6.3	6.3	
								100.0	99.9	99.4	98.6		
104	ノボ・ヘパリン注1万単位	持田	ヘパリンナトリウム	1万単位/10mL	300mg /Sal. 40mL	20	⑥	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液	
								6.8	6.0	6.0	5.9	6.0	
								100.0	98.0	98.7	99.0		
104	ノボ・ヘパリン注1万単位	持田	ヘパリンナトリウム	1万単位/10mL +5%GuI. 1000mL	150mg /5%GuI. 100mL	20	⑥	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液	
								6.5	6.0	5.8	5.7	5.7	
								100.0	99.8	100.6	99.3		
104	ノボ・ヘパリン注1万単位	持田	ヘパリンナトリウム	1万単位/10mL	300mg /5%GuI. 40mL	20	⑥	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液	
								6.8	6.3	6.2	6.3	6.2	
								100.0	100.1	99.8	100.2		

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載 配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号 : D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, GuI. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。

ファンガード点滴用 配合変化表 <本剤の性状：白色の塊 pH(生理食塩液に溶解)：4.5~8.0>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した (\*：ファンガード点滴用50mgを使用)

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	配合法	保存 方法	外観／pH／残存率					備考
								配合剤	配合後				
									配合直後	3時間	6時間	24時間	
＜339 その他の血液・体液用薬＞								[9i] その他					
105	グラン注射液150	協和発酵キリン	フィルグラステム (遺伝子組換え)	150μg/0.6mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明 4.1	無色澄明 4.5 100.0	無色澄明 4.5 99.0	無色澄明 4.5 100.4	無色澄明 4.5 99.7	配合剤の添付文書に「本剤を投与する場合は他剤との混注を行わないこと」と記載
＜391 肝臓疾患用剤＞								[9L] グリチルリチン・グリシン・システイン剤					
106	強力ネオミノファージェン シ-静注20mL	ミノファージェン	グリチルリチン・グリシン ・システイン配合剤	20mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明 6.4	無色澄明 6.5 100.0	無色澄明 6.5 101.1	無色澄明 6.5 101.3	無色澄明 6.5 100.8	
107	ネオファージェン注	大塚工場 = 大鵬薬 品	グリチルリチン・グリシン ・システイン配合剤	20mL	150mg /5%GuI. 250mL	20	⑥	無色澄明の液 7.2	無色澄明の液 7.2 100.0	無色澄明の液 6.6 100.1	無色澄明の液 6.5 99.7	無色澄明の液 6.1 99.2	
107	ネオファージェン注	大塚工場 = 大鵬薬 品	グリチルリチン・グリシン ・システイン配合剤	100mL※	150mg /Sal. 100mL ※	20	⑥	無色澄明の液 7.3	無色澄明の液 7.2 100.0	無色澄明の液 7.1 100.6	無色澄明の液 7.1 99.8	無色澄明の液 7.1 98.9	※：ファンガード点滴用50mg 3管を大塚生食注100mLにて溶解した溶液30mLにネオファージェン注30mLを加えて配合した
107	ネオファージェン注	大塚工場 = 大鵬薬 品	グリチルリチン・グリシン ・システイン配合剤	20mL※	150mg /Sal. 100mL ※	20	⑥	無色澄明の液 7.3	無色澄明の液 7.1 100.0	無色澄明の液 7.0 99.5	無色澄明の液 7.0 99.9	無色澄明の液 6.9 98.4	※：ファンガード点滴用50mg 3管を大塚生食注100mLにて溶解した溶液50mLにネオファージェン注10mLを加えて配合した
107	ネオファージェン注	大塚工場 = 大鵬薬 品	グリチルリチン・グリシン ・システイン配合剤	10mL※	150mg /Sal. 100mL ※	20	⑥	無色澄明の液 7.3	無色澄明の液 7.0 100.0	無色澄明の液 7.0 99.8	無色澄明の液 6.9 99.7	無色澄明の液 6.8 98.6	※：ファンガード点滴用50mg 3管を大塚生食注100mLにて溶解した溶液50mLにネオファージェン注5mLを加えて配合した
＜392 解毒剤＞								[9i] その他					
108	メイロン	大塚工場 = 大塚製 薬	炭酸水素ナトリウム	7% 20mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明の液 7.9	無色澄明の液 8.0 100.0	無色澄明の液 8.1 95.7	無色澄明の液 8.1 90.3	無色澄明の液 8.5 70.1	
＜399 他に分類されない代謝性医薬品＞								[9i] その他					
109	ミラクリッド注射液★	持田	ウリナスタチン	10万単位/2mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 5.22	無色澄明の液 5.22 100.0			無色澄明の液 5.22 100.1	遮光保存
110	注射用エフォーワイ500★	小野	ガベキサートメシル酸塩	500mg /5%GuI. 250mL	75mg	5	① (遮光)	白色の塊	沈殿析出				本剤の添付文書に配合禁忌と記載 遮光保存
111	サンディミュン注射液★	チバガイギー - ノ バルティス	シクロスポリン	250mg/5mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	無色澄明の粘性の液 **	無色澄明の液 6.19 100.0			無色澄明の液 6.19 100.8	遮光保存 **：粘性の液のため測定できなかった。
112	注射用エラスポール100	小野	シベレスタットナトリウ ム水和物	100mg /Sal. 250mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明の液 7.4	無色澄明の液 7.4 100.0	無色澄明の液 7.4 98.4	無色澄明の液 7.3 99.0	無色澄明の液 7.3 96.9	
113	プログラフ注射液5mg★	藤沢	タクロリムス水和物	5mg/1mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 7.14	無色澄明の液 5.24 100.0			無色澄明の液 5.14 100.7	遮光保存
114	注射用フサン50★	鳥居	ナファモスタットメシル 酸塩	50mg /5%GuI. 10mL	75mg	4	① (遮光)	白色の塊	沈殿析出				本剤の添付文書に配合禁忌と記載 遮光保存
＜421 アルキル化剤＞								[1] クロルエチルアミン系製剤					
115	注射用エンドキサン500mg ★	塩野義	シクロホスファミド水和 物	1g(2ﾊﾞｲﾙ) /Sal. 500mL	75mg /Sal. 100mL	6	① (遮光)		無色澄明の液 6.02 100.0	無色澄明の液 5.67 100.2			遮光保存
＜422 代謝拮抗剤＞								[4] シトシン系製剤					
116	キロサイド注	日本新薬	シタラビン	100mg/5mL +Sal. 245mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明の液 6.7	無色澄明の液 6.7 100.0	無色澄明の液 6.5 98.6	無色澄明の液 6.5 99.1	無色澄明の液 6.5 97.6	
＜423 抗腫瘍性抗生物質製剤＞								[5] アントラサイクリン系抗生物質製剤					
117	アドリアシン注★	協和発酵	ドキソルビシン塩酸塩	70mg(7ﾊﾞｲﾙ) /Sal. 100mL	75mg /Sal. 100mL	7	① (遮光)		橙赤色の沈殿物 5.98				本剤の添付文書に配合禁忌と記載 遮光保存

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号 : D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, GuI. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。



ファンガード点滴用 配合変化表 <本剤の性状：白色の塊 pH(生理食塩液に溶解)：4.5~8.0>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した (\*：ファンガード点滴用50mgを使用)

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	配合法	保存 方法	外観／pH／残存率					備考
								配合剤	配合後				
									配合直後	3時間	6時間	24時間	
＜424 抗腫瘍性植物成分製剤＞								[0] その他					
118	ラストット注100mg/5mL	日本化薬	エトポシド	100mg/5mL +Sal. 250mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明 3.8	無色澄明 3.9	無色澄明 3.9	無色澄明 3.9	無色澄明 3.9	
119	オンコピン注射用1mg★	リリー - 塩野義	ピンクリスチン硫酸塩	2mg(2 <sup>π</sup> イ7L) /Sal. 20mL	75mg /Sal. 100mL	8	① (遮光)		無色澄明の液 5.79	無色澄明の液 5.81			遮光保存
＜611 主としてグラム陽性菌に作用するもの＞								[2] リンコマイシン系抗生物質製剤					
120	ダラシンS注射液★	P&U	クリンダマイシンリン酸 エステル	600mg/4mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 6.75	無色澄明の液 6.74			無色澄明の液 6.79	遮光保存
＜611 主としてグラム陽性菌に作用するもの＞								[3] バンコマイシン製剤					
121	塩酸バンコマイシン点滴 静注用0.5g*★	リリー - 塩野義	バンコマイシン塩酸塩	1g(2 <sup>π</sup> イ7L)	50mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	白色の塊及び粉末	白色の懸濁液 3.39				本剤の添付文書に配合禁忌と記載 遮光保存
＜611 主としてグラム陽性菌に作用するもの＞								[9i] その他					
122	ハベカシン注射液★	明治製菓	アルベカシン硫酸塩	100mg/2mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 7.13	沈殿析出				本剤の添付文書に配合禁忌と記載 遮光保存
123	注射用タゴシッド★	アベンティス	テイコブラニン	200 mg (力価)	75mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	微帯黄白色の塊 及び粉末	無色澄明の液 7.34			微黄色澄明の液 7.35	遮光保存
＜612 主としてグラム陰性菌に作用するもの＞								[2] モノバクタム系抗生物質製剤					
124	アザクタム注射用1g★	エーザイ	アズトレオナム	1g	75mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	微帯黄白色の塊	無色澄明の液 5.02			無色澄明の液 4.98	遮光保存
＜612 主としてグラム陰性菌に作用するもの＞								[3] アミノ糖系抗生物質製剤					
126	注射用硫酸アミカシン 「萬有」★	万有	アミカシン硫酸塩	200mg	75mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	白色の粉末	無色澄明の液 6.60			無色澄明の液 6.63	遮光保存
127	注射用硫酸アミカシン 「萬有」200mg	万有	アミカシン硫酸塩	200mg	75mg /5%GuI. 10mL	20	⑥	白色の塊	白濁・ゲル状附着物 6.6			98.6	
128	イセパシン注射液400★	シェリング・ブラ ウ	イセパマイシン硫酸塩	400mg/2mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 6.74	無色澄明の液 6.51			無色澄明の液 6.48	遮光保存
129	イセパシン注射液400	シェリング・ブラ ウ	イセパマイシン硫酸塩	400mg/2mL	75mg /5%GuI. 10mL	20	⑥	無色澄明 6.9	無色澄明 6.6	無色澄明 6.6	無色澄明 6.5	無色澄明 6.5	
130	トブラシン注90mg★	塩野義	トブラマイシン	90mg/1.5mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液 6.49	沈殿析出				本剤の添付文書に配合禁忌と記載 遮光保存
＜613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの＞								[1] ペニシリン系抗生物質製剤					
131	注射用ピクシリン*★	明治製菓	アンピシリンナトリウム	4g(2 <sup>π</sup> イ7L)	50mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	白色の粉末	微黄色澄明の液 9.31	微黄色澄明の液*1 8.98*1			本剤の添付文書に配合禁忌と記載 遮光保存 *1：1時間後に残存率低下
132	ペントシリン注射用4g★ (販売中止)	富山化学	ピペラシリンナトリウム	4g	75mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	白色の粉末及び塊	無色澄明の液 5.98			無色澄明の液 5.41	販売中止 遮光保存
＜613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの＞								[2] セフェム系抗生物質製剤					
133	セファメジンα注射用★	藤沢	セファゾリンナトリウム 水和物	2g	75mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	白色の粉末	無色澄明の液 5.57			無色澄明の液 5.77	遮光保存
134	注射用マキシピーム1g★	BMS = 明治製菓	セフェピム塩酸塩水和物	1g	75mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	白色の粉末	淡黄色澄明の液 4.37			帯褐色澄明の液 4.57	遮光保存

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載 配合量の / (溶解), + (希釈) の右側に記載の略号 : D.W. は注射用水, Sal. は生理食塩液, GuI. はブドウ糖注射液, Sol. は添付溶解液を示す。



ファンガード点滴用 配合変化表 <本剤の性状：白色の塊 pH(生理食塩液に溶解)：4.5~8.0>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した (\*：ファンガード点滴用50mgを使用)

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	配合法	保存 方法	外観／pH／残存率					備考
								配合剤	配合後				
									配合直後	3時間	6時間	24時間	
135	ファーストシン静注用1g★	武田	セフォゾプラン塩酸塩	1g	75mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	帯黄白色の粉末 及び塊	黄色澄明の液			淡黄色澄明の液	遮光保存
									8.22		7.42		
									100.0		95.5		
136	パンスポリン静注用1g★	武田	セフォチアム塩酸塩	1g	75mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	微帯黄白色の粉末	淡黄色澄明の液			黄色澄明の液	遮光保存
									6.53		6.51		
									100.0		99.1		
137	モダシン静注用★	グラクソ・ウェル カム = 田辺	セフトジジム水和物	1g	75mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	白色の粉末	微黄色澄明の液			微黄色澄明の液	遮光保存
									6.61		6.38		
									100.0		99.4		
138	ロセフィン静注用1g	中外	セフトリアキソンナトリ ウム水和物	1g /Sal. 100mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	微黄色澄明の液	微黄色澄明の液	微黄色澄明の液	微黄色澄明の液	微黄色澄明の液	
								6.6	6.5	6.5	6.5	6.6	
									100.0	99.3	100.0	99.9	
139	プロアクト静注用★ (販売中止)	アベンティス - 塩 野義	セフピロム硫酸塩	1g	75mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	白色の粉末	淡黄色澄明の液			褐色澄明の液	販売中止 遮光保存
									7.38		7.10		
									100.0		97.2		
140	セフメタゾン静注用1g	第一三共	セフメタゾールナトリウ ム	2g(2 管)/Sal. 200mL	150mg(1 管)/Sal. 20mL	20	⑥	微黄色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
								4.5	4.6	4.4	4.3	4.1	
									100.0	99.6	99.9	97.3	

<613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの>

[3] オキサセフェム系抗生物質

141	フルマリン静注用1g★	塩野義	フロモキセフナトリウム	1g	75mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	白色の塊	無色澄明の液			微黄色澄明の液	遮光保存
									4.92		5.78		
									100.0		98.2		

<613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの>

[4] アミノ糖系抗生物質製剤

142	ゲンタシン注60★	シェリング・ブラ ウ	ゲンタマイシン硫酸塩	60mg/1.5mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液	沈殿析出				本剤の添付文書に配合禁忌と記載 遮光保存
								5.24					
143	パニマイシン注射液★	明治製菓	ジベカシン硫酸塩	100mg/2mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液	沈殿析出				本剤の添付文書に配合禁忌と記載 遮光保存
								7.01					

<613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの>

[9i] その他

144	フィニバックスキット点 滴用0.25g	塩野義	ドリペネム水和物	250mg /Sal. 100mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
								5.4	5.3	5.2	5.1	4.8	
									100.0	99.8	100.3	100.2	
145	オメガシン点滴用0.3g バッグ*	明治製菓	ピアペネム	0.3g*	50mg /Sal. 100mL*	13	④	無色澄明の液				無色澄明の液	室温・1,000lux ※：配合剤に添付の溶解液(生理食塩液100mL)に本剤を溶解
									5.34		4.53		
									100.0		99.6		
147	メロペン点滴用0.5g★	住友製薬	メロペネム三水和物	0.5g	75mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	白色の粉末	無色澄明の液		微黄色澄明の液		遮光保存
									7.75		7.74		
									100.0		95.9		
147	メロペン点滴用0.5g★	住友製薬	メロペネム三水和物	0.5g	75mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	白色の粉末	無色澄明の液			黄色澄明の液	遮光保存
									7.74		7.64		
									100.0		88.9		

<613 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの>

[9j] 配合剤

148	チエナム点滴用★	萬有	イミペネム(0.5g)・シラ スタチン(0.5g)	0.5g /Sal. 100mL	75mg	12	① (遮光)	白色の粉末	無色澄明の液			淡黄色澄明の液	遮光保存
									7.22		5.99		
									100.0		97.3		
149	ユナシン-Sキット静注 用1.5g	ファイザー	スルバクタムナトリウム (0.5g)・アンピシリンナ トリウム(1g)	1.5g /Sal. 100mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
								9.3	9.0	8.7	8.5	8.2	
									100.0	94.0	89.9	77.1	
150	スルペラゾン静注用1g★	ファイザー	スルバクタムナトリウム (0.5g)・セフォペラゾン ナトリウム(0.5g)	1g	75mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	白色の塊	無色澄明の液			微黄色澄明の液	遮光保存
									5.56		5.20		
									100.0		100.4		
151	ゾシン静注用4.5	大鵬薬品 = 大正富 山	タゾバクタム(0.5g)・ピ ペラシリン水和物(4g)	4.5g /Sal. 100mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	
								5.4	5.4	5.3	5.2	5.0	
									100.0	100.2	101.1	100.5	
152	カルベニン点滴用0.5g★	三共	パニペネム(0.5g)・ベタ ミブロン(0.5g)	0.5g	75mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	微帯黄白色の塊 及び白色の塊	淡黄色澄明の液		黄色澄明の液		遮光保存
									7.04		6.43		
									100.0		99.2		
152	カルベニン点滴用0.5g★	三共	パニペネム(0.5g)・ベタ ミブロン(0.5g)	0.5g	75mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	微帯黄白色の塊 及び白色の塊	淡黄色澄明の液			褐色澄明の液	遮光保存
									7.01		5.75		
									100.0		87.7		

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の / (溶解), +(希釈)の右側に記載の略号 : D.W.は注射用水, Sal.は生理食塩液, Gul.はブドウ糖注射液, Sol.は添付溶解液を示す。

ファンガード点滴用 配合変化表 <本剤の性状：白色の塊 pH(生理食塩液に溶解)：4.5~8.0>

注) 遮光下に配合変化試験を実施したものには製品名の後に★を付した (\*：ファンガード点滴用50mgを使用)

掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	配合法	保存 方法	外観／pH／残存率					備考	
								配合剤	配合後					
									配合直後	3時間	6時間	24時間		
<615 主としてグラム陽性・陰性菌，リケッチア，クラミジアに作用するもの>								[2] テトラサイクリン系抗生物質製剤						
153	点滴静注用ミノマイシン★	ワイズレダリー - 武田	ミノサイクリン塩酸塩	200mg(200μg/17μL)	50mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	帯黄白色の塊	淡黄色の懸濁液					本剤の添付文書に配合禁忌と記載 遮光保存
<617 主としてカビに作用するもの>								[3] アムホテリシンB製剤						
154	ファンギゾン★	プリストル	アムホテリシンB(1)	50mg(力価) /5%GuI. 500mL	75mg	5	① (遮光)	黄色の粉末及び塊	淡黄色澄明の液			淡黄色澄明の液	遮光保存	
<624 合成抗菌剤>								[1] ピリドンカルボン酸系製剤						
155	シプロキサソ注300mg*	バイエル = 明治製薬	シプロフロキサシン	※	50mg /Sal. 100mL	14	-		白色の沈殿析出				本剤の添付文書に配合禁忌と記載 ※：シプロキサソ(300mg/150mg)の生理食塩液150mLによる希釈液(300mL)より100mLをとり、ファンガード50mgの生理食塩液100mL溶液を配合	
156	パズクロス注500*	三菱ウェルファーマ	パズフロキサシンメシル酸塩	500mg/100mL	50mg /Sal. 5mL	15	-		白色の沈殿析出				本剤の添付文書に配合禁忌、配合薬剤の添付文書に「他剤及び輸液と配合した場合に、配合変化(白濁等)が認められているため、原則として他剤及び輸液と配合しないこと」と記載	
157	クラビット点滴静注500mg/20mL	第一三共	レボフロキサシン水和物(遺伝子組換え)	500mg/20mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	黄色澄明	結晶析出	結晶析出	結晶析出	結晶析出		
158	ザイボックス注射液600mg	ファイザー	リネゾリド	600mg/300mL	75mg /Sal. 10mL	23	⑥	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明	無色澄明		
<625 抗ウイルス剤>								[0i] その他						
159	点滴静注用ゾピラックス★	住友製薬 - グラクソ・ウェルカム	アシクロビル	1g(200μg/17μL)	50mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	白色の塊	無色澄明の液	無色澄明の液*1			本剤の添付文書に配合禁忌と記載 遮光保存 *1：1時間後に残存率低下	
160	点滴静注用デノシン★	田辺	ガンシクロビル	500mg	75mg /Sal. 10mL	2	① (遮光)	白色の塊	無色澄明の液			無色澄明の液	本剤の添付文書に配合禁忌と記載 遮光保存 **：イニシャル時点の繰り返し注入において70%以上のピーク面積の減少が認められた。	
161	アラセナーA★	持田 = SBS	ビダラビン	300mg /5%GuI. 500mL	75mg	5	① (遮光)	白色の塊	無色澄明の液			無色澄明の液	遮光保存	
<634 血液製剤類>								[3] 血漿分画製剤						
162	献血静注グロブリン” 化血研” (2500mg)*	化血研 = アズウェル = アベンティス	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	※	※	16	-		白色の沈殿析出				本剤の添付文書に配合禁忌と記載 ※：ファンガード点滴用50mg(17μL)の生理食塩液100mL溶液、献血静注グロブリン”化血研”の注射用水50mL溶液を各10mL配合	
<641 抗寄生虫剤>								[9i] その他						
163	ベナンボックス注用300mg	サノフィ・アベンティス	ペンタミジンイセチオン酸塩	300mg /D. W. 5mL	75mg /Sal. 10mL	20	⑥	無色澄明	結晶析出	結晶析出	結晶析出	結晶析出	配合薬剤の添付文書に「生理食塩液・ブドウ糖注射液以外の注射液と混合または希釈して使用しないこと」と記載	
<641 抗寄生虫剤>								[9J] 配合剤						
164	バクトラミン注★	ロシュ	スルファメトキサゾール(400mg)・トリメトプリム(80mg)	5mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液	無色澄明の液	無色澄明の液			本剤の添付文書に配合禁忌と記載 遮光保存	
164	バクトラミン注★	ロシュ	スルファメトキサゾール(400mg)・トリメトプリム(80mg)	5mL	75mg /Sal. 10mL	1	① (遮光)	無色澄明の液	無色澄明の液			無色澄明の液	本剤の添付文書に配合禁忌と記載 遮光保存	

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載 配合量の/(溶解)、+(希釈)の右側に記載の略号：D.W.は注射用水、Sal.は生理食塩液、GuI.はブドウ糖注射液、Sol.は添付溶解液を示す。



掲載 番号	製品名	メーカー名	成分名	配合剤の 使用量	本剤の 使用量	配合法	保存 方法	外観/pH/残存率						備考							
								配合剤	配合後												
									配合直後	1時間	2時間	3時間	6時間		24時間						
1	トリパレン2号	大塚製薬	高カロリー輸液用基本液(4-2)	600mL	50mg /Sal. 100mL	17- i	⑤ (遮光)	/	淡黄色澄明の液					淡黄色澄明の液	*1 ヒューマリンR注U-40は販売中止 *2 薬価単位は40単位/1mLだが1アンプル は400単位/10mL *3 20mLの1/2アンプル						
	アミパレン	大塚製薬	高カロリー輸液用総合アミノ酸製剤(4)	300mL					左欄記載の 配合溶液より 100mLをとり 本剤と配合	6.06						5.96					
	ビタジェクト	テルモ	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(7)	1セット					100.0							100.0					
	ミネラル注	武田薬品	塩化マンガン・硫酸亜鉛水和物配合剤(1)	2mL																	
	ヒューマリンR注U-40*	日本イライリ	ヒトインスリン(遺伝子組換え)	10mL <sup>*2</sup>																	
	アスパラK注射液	田辺製薬	L-アスパラギン酸カリウム	10mL																	
	大塚食塩注10%	大塚製薬	塩化ナトリウム	10mL <sup>*3</sup>																	
	トリパレン2号	大塚製薬	高カロリー輸液用基本液(4-2)	600mL					300mg /Sal. 100mL	17- ii	⑤ (遮光)	/	淡黄色澄明の液						淡黄色澄明の液	*1 ヒューマリンR注U-40は販売中止 *2 薬価単位は40単位/1mLだが1アンプル は400単位/10mL *3 20mLの1/2アンプル	
	アミパレン	大塚製薬	高カロリー輸液用総合アミノ酸製剤(4)	300mL									左欄記載の 配合溶液より 100mLをとり 本剤と配合	6.05							5.96
	ビタジェクト	テルモ	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(7)	1セット									100.0								100.4
	ミネラル注	武田薬品	塩化マンガン・硫酸亜鉛水和物配合剤(1)	2mL																	
	ヒューマリンR注U-40*	日本イライリ	ヒトインスリン(遺伝子組換え)	10mL <sup>*2</sup>																	
アスパラK注射液	田辺製薬	L-アスパラギン酸カリウム	10mL																		
大塚食塩注10%	大塚製薬	塩化ナトリウム	10mL <sup>*3</sup>																		
トリパレン2号	大塚製薬	高カロリー輸液用基本液(4-2)	1,200mL	50mg /Sal. 100mL	17- iii	⑤ (遮光)	/	微黄色澄明の液									微黄色澄明の液	*1 ヒューマリンR注U-40は販売中止 *2 薬価単位は40単位/1mLだが1アンプル は400単位/10mL *3 20mLの1/2アンプル			
アミパレン	大塚製薬	高カロリー輸液用総合アミノ酸製剤(4)	600mL					左欄記載の 配合溶液より 100mLをとり 本剤と配合					6.07						5.95		
ビタジェクト	テルモ	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(7)	1セット					100.0											100.2		
ミネラル注	武田薬品	塩化マンガン・硫酸亜鉛水和物配合剤(1)	2mL																		
ヒューマリンR注U-40*	日本イライリ	ヒトインスリン(遺伝子組換え)	10mL <sup>*2</sup>																		
アスパラK注射液	田辺製薬	L-アスパラギン酸カリウム	10mL																		
大塚食塩注10%	大塚製薬	塩化ナトリウム	10mL <sup>*3</sup>																		
トリパレン2号	大塚製薬	高カロリー輸液用基本液(4-2)	1,200mL					300mg /Sal. 100mL	17- iv	⑤ (遮光)	/	微黄色澄明の液					微黄色澄明の液		*1 ヒューマリンR注U-40は販売中止 *2 薬価単位は40単位/1mLだが1アンプル は400単位/10mL *3 20mLの1/2アンプル		
アミパレン	大塚製薬	高カロリー輸液用総合アミノ酸製剤(4)	600mL									左欄記載の 配合溶液より 100mLをとり 本剤と配合	6.05							5.96	
ビタジェクト	テルモ	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(7)	1セット									100.0								100.6	
ミネラル注	武田薬品	塩化マンガン・硫酸亜鉛水和物配合剤(1)	2mL																		
ヒューマリンR注U-40*	日本イライリ	ヒトインスリン(遺伝子組換え)	10mL <sup>*2</sup>																		
アスパラK注射液	田辺製薬	L-アスパラギン酸カリウム	10mL																		
大塚食塩注10%	大塚製薬	塩化ナトリウム	10mL <sup>*3</sup>																		
2	トリパレン2号	大塚製薬	高カロリー輸液用基本液(4-2)	600mL	50mg /Sal. 100mL	18- i	⑤ (遮光)					/	淡黄色澄明の液					淡黄色澄明の液		*1 ヒューマリンR注U-40は販売中止 *2 薬価単位は40単位/1mLだが1アンプル は400単位/10mL *3 20mLの1/2アンプル タガメット注射液200mg(シメチジン):本剤 の添付文書に配合禁忌の記載	
	アミパレン	大塚製薬	高カロリー輸液用総合アミノ酸製剤(4)	300mL									左欄記載の 配合溶液より 100mLをとり 本剤と配合	6.04							5.95
	ビタジェクト	テルモ	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(7)	1セット									100.0								100.5
	ミネラル注	武田薬品	塩化マンガン・硫酸亜鉛水和物配合剤(1)	2mL																	
	ヒューマリンR注U-40*	日本イライリ	ヒトインスリン(遺伝子組換え)	10mL <sup>*2</sup>																	
	アスパラK注射液	田辺製薬	L-アスパラギン酸カリウム	10mL																	
	大塚食塩注10%	大塚製薬	塩化ナトリウム	10mL <sup>*3</sup>																	
	タガメット注射液200mg	住友製薬	シメチジン	2mL																	
	トリパレン2号	大塚製薬	高カロリー輸液用基本液(4-2)	600mL				300mg /Sal. 100mL	18- ii	⑤ (遮光)	/		淡黄色澄明の液					淡黄色澄明の液	*1 ヒューマリンR注U-40は販売中止 *2 薬価単位は40単位/1mLだが1アンプル は400単位/10mL *3 20mLの1/2アンプル タガメット注射液200mg(シメチジン):本剤 の添付文書に配合禁忌の記載		
	アミパレン	大塚製薬	高カロリー輸液用総合アミノ酸製剤(4)	300mL									左欄記載の 配合溶液より 100mLをとり 本剤と配合	6.04							5.96
	ビタジェクト	テルモ	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(7)	1セット									100.0								100.4
	ミネラル注	武田薬品	塩化マンガン・硫酸亜鉛水和物配合剤(1)	2mL																	
ヒューマリンR注U-40*	日本イライリ	ヒトインスリン(遺伝子組換え)	10mL <sup>*2</sup>																		
アスパラK注射液	田辺製薬	L-アスパラギン酸カリウム	10mL																		
大塚食塩注10%	大塚製薬	塩化ナトリウム	10mL <sup>*3</sup>																		
タガメット注射液200mg	住友製薬	シメチジン	2mL																		
トリパレン2号	大塚製薬	高カロリー輸液用基本液(4-2)	1,200mL	50mg /Sal. 100mL	18- iii	⑤ (遮光)	/					微黄色澄明の液					微黄色澄明の液	*1 ヒューマリンR注U-40は販売中止 *2 薬価単位は40単位/1mLだが1アンプル は400単位/10mL *3 20mLの1/2アンプル タガメット注射液200mg(シメチジン):本剤 の添付文書に配合禁忌の記載			
アミパレン	大塚製薬	高カロリー輸液用総合アミノ酸製剤(4)	600mL									左欄記載の 配合溶液より 100mLをとり 本剤と配合	6.06							5.97	
ビタジェクト	テルモ	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(7)	1セット									100.0								100.1	
ミネラル注	武田薬品	塩化マンガン・硫酸亜鉛水和物配合剤(1)	2mL																		
ヒューマリンR注U-40*	日本イライリ	ヒトインスリン(遺伝子組換え)	10mL <sup>*2</sup>																		
アスパラK注射液	田辺製薬	L-アスパラギン酸カリウム	10mL																		
大塚食塩注10%	大塚製薬	塩化ナトリウム	10mL <sup>*3</sup>																		
タガメット注射液200mg	住友製薬	シメチジン	2mL																		
トリパレン2号	大塚製薬	高カロリー輸液用基本液(4-2)	1,200mL					300mg /Sal. 100mL	18- iv	⑤ (遮光)	/	微黄色澄明の液					微黄色澄明の液		*1 ヒューマリンR注U-40は販売中止 *2 薬価単位は40単位/1mLだが1アンプル は400単位/10mL *3 20mLの1/2アンプル タガメット注射液200mg(シメチジン):本剤 の添付文書に配合禁忌の記載		
アミパレン	大塚製薬	高カロリー輸液用総合アミノ酸製剤(4)	600mL									左欄記載の 配合溶液より 100mLをとり 本剤と配合	6.05							5.94	
ビタジェクト	テルモ	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(7)	1セット									100.0								100.1	
ミネラル注	武田薬品	塩化マンガン・硫酸亜鉛水和物配合剤(1)	2mL																		
ヒューマリンR注U-40*	日本イライリ	ヒトインスリン(遺伝子組換え)	10mL <sup>*2</sup>																		
アスパラK注射液	田辺製薬	L-アスパラギン酸カリウム	10mL																		
大塚食塩注10%	大塚製薬	塩化ナトリウム	10mL <sup>*3</sup>																		
タガメット注射液200mg	住友製薬	シメチジン	2mL																		
3	ピーエヌツイン-3号	味の素ファルマ	アミノ酸・糖・電解質(3-3)	※	※	19	⑥					/	微黄色澄明の液					微黄色澄明の液		※:ファンガード点滴用50mg 6ﾊﾞｲｱﾙを生理食塩液100mLの各5mLで溶解して元の生理食塩液に戻した液(300mg/100mL)の20mLと、ビタジェクト(A液+B液)とピーエヌツイン-3号1,200mLを混合した液の20mLを配合	
	ビタジェクト	テルモ	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(7)	※	※								5.15					5.13			
													100.0					99.4			
4	アミノトリパ2号	大塚製薬	アミノ酸・糖・電解質(2-2)	※	※	19	⑥					/	微黄色澄明の液					微黄色澄明の液		※:ファンガード点滴用50mg 6ﾊﾞｲｱﾙを生理食塩液100mLの各5mLで溶解して元の生理食塩液に戻した液(300mg/100mL)の20mLと、ビタジェクト(A液+B液)とアミノトリパ2号900mLを混合した液の20mLを配合	
	ビタジェクト	テルモ	高カロリー輸液用総合ビタミン剤(7)	※	※			5.54						5.49							
								100.0						100.6							

\*1 ヒューマリンR注U-40は販売中止 \*2 薬価単位は40単位/1mLだが1アンプルは400単位/10mL \*3 20mLの1/2アンプル

(注) 製品名およびメーカー名は試験当時の名称を記載

配合量の/(溶解),+(希釈)の右側に記載の略号:D.W.は注射用水,Sal.は生理食塩液,Gul.はブドウ糖注射液,Sol.は添付溶解液を示す。



## ファンガード点滴用配合変化試験

ファンガード点滴用と配合の予想される市販の薬剤との配合変化試験を実施した。試験方法を以下に示す。

### 1. 試料

- 1) ファンガード点滴用
  - ・ファンガード点滴用50mg
  - ・ファンガード点滴用75mg
- 2) 配合薬剤
  - 配合薬剤は配合変化表を参照。

### 2. 配合方法

配合薬剤が輸液の場合は、ファンガード点滴用1バイアルをそのまま輸液に溶解した。その他の薬剤の場合は、ファンガード点滴用1バイアルを生理食塩液、又は5w/v%ブドウ糖注射液10～500mLに溶かしたものと他剤とを配合した。配合変化試験では主にファンガード点滴用75mgを使用しているが、一部ファンガード点滴用50mgも使用した。

配合方法の詳細を次に示す。

- 1) 配合法1
  - ファンガード点滴用1バイアルに生理食塩液10mLを加えて溶かしたものに、配合薬剤1アンプルを加えてよく振り混ぜて、試料溶液とする。
- 2) 配合法2
  - ファンガード点滴用1バイアルに生理食塩液10mL（又はファンガード点滴用2バイアルに生理食塩液20mL）を加えて溶かしたものに（溶解液が添付されているものは、あらかじめ溶解液を用いて溶解しておく）、配合薬剤1アンプル（ただし、注射用ビクシリン2g、塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g及び点滴静注用ミノマイシンは2バイアル、また、点滴静注用ゾビラックスは4バイアル）を加えて溶かし、試料溶液とする。
- 3) 配合法3
  - 輸液又は補液の10mLを用いて、ファンガード点滴用1バイアルを溶かしたものを、元の輸液又は補液に戻し、よく振り混ぜて試料溶液とする。
- 4) 配合法4
  - 配合薬剤1バイアルを5w/v%ブドウ糖注射液10mLに溶かしたものを、ファンガード点滴用1バイアルに加えて溶かし、試料溶液とする。
- 5) 配合法5
  - 配合薬剤1バイアルに5w/v%ブドウ糖注射液250mL（注射用エフォーワイ500）又は、500mL（アラセナ-A及びファンギゾン）を加えて溶かした後、この液10mLを用いてファンガード点滴用1バイアルを溶かす。この液を元に戻し、よく振り混ぜて試料溶液とする。
- 6) 配合法6
  - 配合薬剤（注射用エンドキサン500mg）2バイアルを生理食塩液500mLに溶かし、ファンガード点滴用75mg 1バイアルを生理食塩液100mLに溶かした液と混合し、試料溶液とする。
- 7) 配合法7
  - 配合薬剤（アドリアシン注）7バイアルを生理食塩液100mLに溶かし、ファンガード点滴用75mg 1バイアルを生理食塩液100mLに溶かした液と混合し、試料溶液とする。
- 8) 配合法8
  - 配合薬剤（オンコビン注射用1mg）2バイアルを生理食塩液20mLに溶かし、ファンガード点滴用75mg 1バイアルを生理食塩液100mLに溶かした液と混合し、試料溶液とする。
- 12) 配合法12
  - 配合薬剤1バイアルを生理食塩液100mLに溶かした後、この液10mLを用いてファンガード点滴用1バイアルを溶かす。この液を元に戻し、よく振り混ぜて試料溶液とする。
- 13) 配合法13
  - 配合薬剤（オメガシン点滴用0.3gバッグ）の溶解液バッグ（生理食塩液100mL）のゴム栓部分から生理食塩液5mLをとり、ファンガード点滴用50mg 1バイアルに加えて溶かし、元の溶解液バッグに戻して均一になるまで振り混ぜる。その後、溶解液部分を手で押して隔壁を開通させ、更に溶解液部分を繰り返し押し戻して薬剤を完全に溶解させ、試料溶液とする。
- 14) 配合法14
  - ファンガード点滴用50mg 1バイアルを生理食塩液5mLに溶かし、生理食塩液を加えて100mLとしたものと、配合薬剤（シプロキサン注300mg 150mL）に生理食塩液150mLを加えて混合し300mLとしたものを各100mL混合し、試料溶液とする。
- 15) 配合法15
  - ファンガード点滴用50mg 1バイアルを生理食塩液5mLに溶かした後、この液を配合薬剤（パズクロス注500）100mLに加え、試料溶液とする。
- 16) 配合法16
  - ファンガード点滴用50mg 1バイアルを生理食塩液100mLに溶かしたものと、配合薬剤（献血静注グロブリン“化血研”（2500mg））を注射用水50mLに溶かしたものを各10mL配合し、試料溶液とする。

## 17) 配合法17

ファンガード点滴用50mg 1バイアルまたは6バイアルを生理食塩液100mLに溶かしたものと、7種の配合薬剤を混合したIVH液100mLを以下の処方で配合し、試料溶液とする。

種類	品名	容量	配合No.			
			i	ii	iii	iv
ファンガード液	ファンガード点滴用 (生理食塩液100mLに溶解)	50 mg	1バイアル (50mg)	6バイアル (300mg)	1バイアル (50mg)	6バイアル (300mg)
IVH液	トリパレン2号	600 mL	1バッグ		2バッグ	
	アミパレン	300 mL	1バッグ		2バッグ	
	ビタジェクト	5mL×2	1セット			
	ミネラリン注	2mL	1アンプル			
	ヒューマリンR注 U-40	10 mL	1バイアル			
	アスパラK 注射液	10 mL	1アンプル			
	大塚食塩注 10%	20 mL	1/2アンプル (10 mLを用いる)			

## 18) 配合法18

ファンガード点滴用50mg 1バイアルまたは6バイアルを生理食塩液100mLに溶かしたものと、7種の配合薬剤を混合したIVH液にタガメット注射液200mgを加えたもの100mLを以下の処方で配合し、試料溶液とする。

種類	品名	容量	配合No.			
			i	ii	iii	iv
ファンガード液	ファンガード点滴用 (生理食塩液100mLに溶解)	50 mg	1バイアル (50mg)	6バイアル (300mg)	1バイアル (50mg)	6バイアル (300mg)
IVH液	トリパレン2号	600 mL	1バッグ		2バッグ	
	アミパレン	300 mL	1バッグ		2バッグ	
	ビタジェクト	5mL×2	1セット			
	ミネラリン注	2mL	1アンプル			
	ヒューマリンR注 U-40	10 mL	1バイアル			
	アスパラK 注射液	10 mL	1アンプル			
	大塚食塩注 10%	20 mL	1/2アンプル (10 mLを用いる)			
—	タガメット注射液200mg	2mL	1アンプル			

## 19) 配合法19

ファンガード点滴用50mg 6バイアルを生理食塩液100mLの各5mLで溶解して元の生理食塩液に戻した液の20mLと、配合薬剤（ビタジェクトA液及びB液+ピーエヌツイン - 3号1200mL又はアミノトリパ2号900mL）を混合したIVH液20mLを配合し、試料溶液とする。

## 20) 配合法20

ファンガード点滴用・配合薬剤はそれぞれの配合量に記載の比率にて配合する。

## 21) 配合法21

配合薬剤をシリンジで採取し生理食塩液250mLのソフトバッグに注入し溶かした液に、生食注10 mLをシリンジで採取しファンガード点滴用75mg 1バイアルに適量注入して溶解させた液を注入して混合し、試料溶液とする。

## 22) 配合法22

生食注10 mLをシリンジで採取し、ファンガード点滴用75mg 1バイアルに適量注入して溶解させ、溶解後の液をシリンジに吸入し、さらに配合薬剤を全量吸入して混合し、試料溶液とする。

## 23) 配合法23

生食注10 mLをシリンジで採取し、ファンガード点滴用75mg 1バイアルに適量注入して溶解させ、溶解後の液をシリンジに吸入し、配合薬剤のバッグに注入して混合し、試料溶液とする。

## 24) 配合法24

生食注10 mLをシリンジで採取し、ファンガード点滴用75mg 1バイアルに適量注入して溶解させ、溶解後の液をシリンジに吸入し、大室液と小室液を混ぜ合わせた配合薬剤のバッグに注入して混合し、試料溶液とする。

### 3. 保存条件及び保存期間

- ①試料溶液を無色のガラス瓶（配合法3の場合は輸液の容器，配合法9及び10の場合は生理食塩液バッグ）に入れ，遮光バッグで覆った後，室温・室内散光下で保存する。
- ②試料溶液を輸液バッグ（プラスチックバッグ）で保存し，室温・室内散光下で保存する。
- ③試料溶液を無色のガラス瓶に入れ，アルミ箔で覆った後，室温・室内散光下で保存する。
- ④試料溶液を輸液バッグ（プラスチックバッグ）で保存し，室温・1000ルクスで保存する。
- ⑤試料溶液を褐色ガラス容器（気密容器）で保存し，室温・室内散光下で保存する。
- ⑥試料溶液を無色ガラス容器（気密容器。配合法21の場合は生理食塩液バッグ，配合法22の場合はシリンジ内，配合法23及び24の場合は配合薬剤のバッグ）で保存し，室温・室内散光下で保存する。

### 4. 試験項目

- 1) 外観
- 2) pH
- 3) 力価試験（液体クロマトグラフ法）



参考：【配合薬剤掲載一覧（五十音順）】

★：遮光条件で試験実施

<各製品については、各々の添付文書等をご確認ください。>

	製品名（2014年4月現在）	掲載されている製品名	掲載番号	
あ行	アクテット輸液	アクテット注	98	
	アザクタム注射用1g★	同左	124	
	アザクタム注射用1g	同左	125	
	アスパラカリウム注10mEq	同左	46	
	アドナ注（静脈用）100mg	アドナ（AC-17）注射液（静脈用）★	99	
	アドリアシン注用10	アドリアシン注★	117	
	アミカシン硫酸塩注射用200mg「日医工」	注射用硫酸アミカシン「萬有」★	126	
	アミカシン硫酸塩注射用200mg「日医工」	注射用硫酸アミカシン「萬有」200mg	127	
	アミグランド輸液	同左	74	
	アミノトリパ1号輸液	同左	60	
	アミノトリパ2号輸液	アミノトリパ2号	61	
	アミノフリード輸液	アミノフリード★	62	
	アミノレバン点滴静注	同左	56	
	アミパレン輸液	同左	57	
	アラセナーA点滴静注用300mg	アラセナーA★	161	
	アリナミンF100注★	同左	33	
	EL-3号輸液	EL-3号★	84	
	イセパシン注射液400★	同左	128	
	イセパシン注射液400	同左	129	
	イノバン注200mg	イノバン注★	6	
	ヴィーン3G輸液	ヴィーン3G注★	97	
	ヴィーンD輸液	ヴィーンD注★	88	
	ヴィーンF輸液	ヴィーンF注★	87	
	エルネオパ1号輸液	同左	72	
	エルネオパ2号輸液	同左	73	
	エレメンミック注	同左	48	
	塩酸バンコマイシン点滴静注用0.5g★	同左	121	
	オーツカMV注★	同左	39	
	大塚食塩注10%	同左	77	
	大塚糖液5%	同左	50	
	大塚糖液5%★	同左	51	
	大塚糖液50%	同左	53	
	オメガシン点滴用0.3gバッグ*	同左	145	
	オメガシン点滴用0.3gバッグ	同左	146	
	オメブラール注用20	同左	20	
	オンコピン注射用1mg★	同左	119	
	か行	カイトリル注3mg	カイトリル注射液★	22
		ガスター注射液20mg	同左	18
		カルチコール注射液8.5%10mL	同左	44
		カルベニン点滴用0.5g★	同左	152
		キシリトール注20%	同左	54
キドミン輸液		同左	59	
強力ネオミノファーゲンシー静注20mL		同左	106	
キロサイド注100mg		キロサイド注	116	
クラビット点滴静注500mg/20mL		同左	157	
グラン注射液150		同左	105	
グリセオール注★		同左	14	
ケイツーN静注10mg		ケイツーN注★	36	
K. C. L. 点滴液15%		同左	47	
KN3号輸液		KN補液3B★	82	
献血グロブリン注射用2500mg「化血研」		献血静注グロブリン”化血研”（2500mg）*	162	
ゲンタシン注60★		同左	142	
さ行		ザイボックス注射液600mg	同左	158
		ザンタック注射液100mg	ザンタック注射液★	19
		サンディミュン点滴静注用250mg	サンディミュン注射液★	111

	製品名（2014年4月現在）	掲載されている製品名	掲載番号	
さ行	シーバラ注	同左	43	
	シプロキサシ注300mg*	同左	155	
	水溶性ブレドニン50mg★	同左	29	
	スルペラゾン静注用1g★	同左	150	
	セファメジンα注射用★	同左	133	
	セフメタゾン静注用1g	同左	140	
	ゾシン静注用4.5	同左	151	
	ソセゴン注射液30mg★	同左	4	
	ゾビラックス点滴静注用250	点滴静注用ゾビラックス*★	159	
	ゾフラン注4★	同左	21	
	ソリターT1号輸液	ソリターT1号★	79	
	ソリターT2号輸液	ソリターT2号★	86	
	ソリターT3号輸液	ソリターT3号★	80	
	ソリターT4号輸液	ソリターT4号★	85	
	ソル・コーテフ注射用100mg	ソル・コーテフ★	26	
	ソル・メドロール静注用1000mg	ソル・メドロール1000★	30	
	ソルダクトン静注用200mg	ソルダクトン200mg★	9	
	ソルデム1輸液	同左	78	
	ソルデム3A輸液	同左	81	
	た行	ソルラクトS輸液	ソルラクトS★	92
		ソルラクト輸液	ソルラクト★	89
		ダイヤモンド注射用500mg	注射用ダイヤモンド★	10
		タガメット注射液200mg★	同左	17
		ダラシンS注射液600mg	ダラシンS注射液★	120
		チエナム点滴静注用0.5g	チエナム点滴用★	148
		注射用エフオーワイ500★	同左	110
		注射用エラスポール100	同左	112
		注射用エンドキサシ500mg★	同左	115
		注射用タゴシッド200mg	注射用タゴシッド★	123
		注射用フサン50★	同左	114
		注射用マキシピーム1g★	同左	134
		ツインパル輸液	ツインパル	63
		低分子デキストランL注★	同左	94
		1%ディプリバン注	同左	1
デカドロン注射液3.3mg		デカドロン注射液★	27	
デノシン点滴静注用500mg		点滴静注用デノシン★	160	
テルモ糖注5%		同左	52	
ドブトレックス注射液100mg★		同左	8	
トブラシン注90mg★		同左	130	
ドブラム注射液400mg	ドブラム注射液★	15		
トランサミン注5%	トランサミン注★	100		
な行	ドルミカム注射液10mg	同左	2	
	ナゼア注射液0.3mg★	同左	23	
	ネオアミュー輸液	同左	58	
	ネオパレン1号輸液	ネオパレン1号	70	
	ネオパレン2号輸液	ネオパレン2号	71	
	ネオファーゲン静注20mL	ネオファーゲン注	107	
	ネオフィリン注250mg	ネオフィリン注★	5	
	ネオラミン・スリービー液（静注用）★	同左	37	
	ネオラミン・マルチV注射用	ネオラミン・マルチV★	40	
	ノボ・ヘパリン注1万単位/10mL	ノボ・ヘパリン注1万単位	104	
	ノボリンR注100単位/mL	同左	31	
	ノルアドレナリン注1mg	同左	25	
	は行	ハイカリックRF輸液	同左	55
		バクトラミン注★	同左	164

	製品名（2014年4月現在）	掲載されている製品名	掲載番号	
は行	バズクロス点滴静注液500mg	バズクロス注500*	156	
	パニマイシン注射液100mg	パニマイシン注射液★	143	
	ハベカシン注射液100mg	ハベカシン注射液★	122	
	ハルトマン輸液「NP」	ハルトマン液-ヨシトミ★	91	
	パレプラス輸液	同左	76	
	パンスポリン静注用1g★	同左	136	
	パントシン注10%★	同左	35	
	ハンブ注射用1000	同左	13	
	ピーエヌツインー1号輸液	同左	64	
	ピーエヌツインー2号輸液	同左	65	
	ピーエヌツインー3号輸液	ピーエヌツインー3号*	66	
	ビーフリード輸液	ビーフリード点滴静注用	75	
	ビクシリン注射用2g	注射用ビクシリン*★	131	
	ビスルボン注4mg	ビスルボン注射液★	16	
	ビタジェクト注キット	ビタジェクト	42	
	ビタメジン静注用★	同左	38	
	ヒューマリンR注100単位/mL	同左	32	
	ファーストシン静注用1g★	同左	135	
	ファンギゾン注射用50mg	ファンギゾン★	154	
	フィジオ35輸液	同左	96	
	フィジオゾール3号輸液	フィジオゾール・3号★	83	
	フィニバックスキット点滴静注用0.25g	フィニバックスキット点滴用0.25g	144	
	フェジン静注40mg	同左	45	
	フラグミン静注5000単位/5mL	同左	101	
	フラビタン注射液20mg★	同左	34	
	プリンペラン注射液10mg	プリンペラン注射液★	24	
	フルカリック1号輸液	フルカリック1号	67	
	フルカリック2号輸液	フルカリック2号	68	
	フルカリック3号輸液	フルカリック3号	69	
	フルマリン静注用1g★	同左	141	
	プレドパ注200	同左	7	
	プロアクト静注用1g【販売中止】	プロアクト静注用★【販売中止】	139	
	プログラフ注射液5mg★	同左	113	
	ベナンバックス注用300mg	同左	163	
	ヘパリンカルシウム注1万単位/10mL「AY」	ヘパリンカルシウム注射液	102	
	ヘパリンカルシウム注1万単位/10mL「AY」	ヘパリンカルシウム注1万単位/10mL「味の素」	103	
	ペルジピン注射液10mg	同左	12	
	ペントシリン注射用4g★【販売中止】	同左	132	
	ポタコールR輸液	ポタコールR★	95	
	ま行	マルタミン注射用★	同左	41
		ミネラル注	同左	49
ミノマイシン点滴静注用100mg		点滴静注用ミノマイシン*★	153	
ミラクリッド注射液10万単位		ミラクリッド注射液★	109	
メイロン静注7%	メイロン	108		
メロベン点滴用バイアル0.5g	メロベン点滴用0.5g★	147		
や行	モダシン静注用1g	モダシン静注用★	137	
	ら行	ユナシンSキット静注用1.5g	同左	149
ラクテックG輸液		ラクテックG注★	93	
ラクテック注★		同左	90	
ラシックス100mg注★		同左	11	
ラストット注100mg/5mL		同左	118	
リンデロン注2mg(0.4%)		リンデロン注★	28	
レベタン注0.2mg / レベタン注0.3mg		レベタン注★	3	
ロセフィン静注用1g		同左	138	

# 参考：【配合薬剤（多剤）掲載一覧（五十音順）】

<各製品については、各々の添付文書等をご確認ください。>

	製品名（2014年4月現在）	掲載されている製品名	掲載番号
配合液1	トリパレン2号輸液	トリパレン2号	1
	アミパレン輸液	アミパレン	
	ビタジェクト注キット	ビタジェクト	
	ミネラルイン注	同左	
	ヒューマリンR注U-40(販売中止)	ヒューマリンR注U-40	
	アスパラカリウム注10mEq	アスパラK注射液	
	大塚食塩注10%	同左	
配合液2	トリパレン2号輸液	トリパレン2号	2
	アミパレン輸液	アミパレン	
	ビタジェクト注キット	ビタジェクト	
	ミネラルイン注	同左	
	ヒューマリンR注U-40(販売中止)	ヒューマリンR注U-40	
	アスパラカリウム注10mEq	アスパラK注射液	
	大塚食塩注10%	同左	
	タガメット注射液200mg	同左	
配合液3	ピーエヌツインー3号輸液	ピーエヌツインー3号	3
	ビタジェクト注キット	ビタジェクト	
配合液4	アミノトリパ2号輸液	アミノトリパ2号	4
	ビタジェクト注キット	ビタジェクト	

キャンディン系抗真菌剤

# ファンガード点滴用25mg／50mg／75mg

注射用ミカファンギンナトリウム

一般名又は成分 単位/容量 [溶解液の種類]	投与法	用時 溶解	規格 pH域	試料 pH	(A) N/10HCl (B) N/10NaOH	変化点pH 又は最終pH	移動 指数	変化所見	希釈試験								浸透圧比 (約)	
									20mL				500mL					
									0	30min	1hr	3hr	0	30min	1hr	3hr		
ミカファンギンナトリウム 25mg・50mg・75mg [生理食塩液]	点	●	4.5～8.0 (25mg/ 100mL)													1		
			4.5～8.0 (50mg/ 100mL)														1	
			4.5～8.0 (75mg/ 100mL)														1	
			6.00 (100mg /100mL)	(A) 10.0 (B) 10.0	2.10 11.80	3.90 5.80	変化なし 変化なし*											-
			4.5～8.0 (150mg/ 100mL)	6.00 (150mg /100mL)	(A) 10.0 (B) 10.0	2.10 11.80	3.90 5.80	変化なし 変化なし*										1
			4.5～8.0 (300mg/ 100mL)															1
ミカファンギンナトリウム 25mg・50mg・75mg [5%ブドウ糖注射液]	点	●	3.5～7.0 (25mg/ 100mL)													1		
			3.5～7.0 (50mg/ 100mL)														1	
			3.5～7.0 (75mg/ 100mL)														1	
			3.5～7.0 (150mg/ 100mL)														1	
			3.5～7.0 (300mg/ 100mL)														1	

参考文献)社内報告書

\* pH変動試験では酸性、アルカリ性いずれにおいても外観変化所見は認められなかったが、別の試験においてpH8.5で24時間後に残存率が86.4%になったとの報告がある。



## 〔凡 例〕

## 1. 一般名又は成分、単位／容量

用時溶解して用いる注射薬はその溶解に用いた溶解液の種類を〔 〕に記入した。

## 2. 投与方法

静は静脈内注射、点は点滴静注、筋は筋肉内注射、皮は皮下注射、動は動脈内注射を意味する。

## 3. 用時溶解

●印は用時溶解して用いる注射薬を示し、※は用時懸濁して用いる注射薬を示す。  
空欄は溶解済の注射薬を示す。

## 4. 規格pH域

添付文書記載のpH域を記入した(用時溶解の製剤は左欄の〔 〕に記載の溶解液を用い、製品の容量／溶解液の液量を( )内に示した)。

## 5. 試料pH

実験に供した注射薬のpHで、用時溶解して用いる注射薬では一般名又は成分単位／容量に記入された条件におけるpHを示す(用時溶解の製剤は左欄の〔 〕に記載の溶解液を用い、製品の容量／溶解液の液量を( )内に示した)。

## 6. (A) N/10 HCl、(B) N/10 NaOH

0.1N HCl、0.1N NaOHにより上限を10mLとして滴定を行ない、外観変化が認められた場合は、この時の滴下mL数とし、外観変化が認められなかった場合は10mLとした。

**変化点pHまたは最終pH**：上記滴定により、外観変化が認められたpHを変化点pHとし、外観変化が認められなかった場合は、10mL滴下時のpHを最終pHとした。

**移動指数**：上記pHと試料pHとの差を示す。

## 7. 変化所見

0.1N HCl、0.1N NaOHの滴定における外観変化を記入した。

## 8. 浸透圧比

浸透圧比は氷点降下法により測定し、生理食塩液を1として比であらわした(添付文書記載の値を記載した)。

## 9. その他

用時溶解以外の空欄は、データなしを意味する。

(幸保文治著「注射薬便覧」南山堂1976の凡例に基づく)

## 注射薬のpH変動試験法及び希釈試験法

## 1. 試料

1アンプル、1バイアル中の容量が10mL以上の場合には10mL、10mL未満の場合には1アンプル、1バイアルの容量をもって試料とする。用時溶解して用いる注射薬は添付の溶解液、又は添付文書中に指定の注射液の指定量で溶解する。

## 2. pH変動試験法

0.1N HCl、0.1N NaOHにより、上限を10mLとして滴定を行ない、外観変化が認められた場合は、この時のpH(変化点pH)及び滴定量を測定する。また、外観変化が認められなかった場合は、10mL滴下時のpH(最終pH)を測定する。

## 3. 希釈試験

外観変化の認められるものについては変化点pHにおいて、さらに20mLおよび500mLの蒸留水を加えて良く攪拌し、外観変化の状態を希釈直後、30分、1時間、3時間、室温にて観察する。

(幸保文治著「注射薬便覧」南山堂1976 P.32に基づく)